

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 幸和会	代表者	理事長 福本 育馬	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の本当の気持ち(ニーズ)を理解し、思いやりのある対応を心掛けています。 ・利用者様もスタッフも、明るく笑顔でいっばいの雰囲気作りを目指しています。 ・職員への研修を充実させて、介護の質の向上を図っています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ふるる	管理者	大谷 光明		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	3人	4人	人	人	人	人	1人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーや、管理者との面談での情報や現場で職員からの気づきを共有し、日頃のケアに活かされています。 	<p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大している中で、直接2号館を見ているとはいえませんが、資料を見たり話を聞いて、自己評価ができていると思えますし、コロナ禍の事業所の大変さがよく分かりました。 ・だからこそ、介護職員・看護職員の負担を減らし、ケアに集中してもらおう方がいいと思います。あまり、意味がない質問も多くあると思えます。 	<p>特になし。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が気持ちよく、安心して過ごせるように、感染予防対策を行っています。 ・季節感を感じられるように、利用者とともに壁紙づくりなどが行われています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を徹底されていたと思います。クラスターが発生し、利用者3名に抑えられたと思いますが、その中の1名がお亡くなりになった事は、とても残念なことです。この方の死を無駄にしないためにも、この教訓を今後に活かして、取り組んで頂けると思っています。 	<p>特になし。</p> <p>感染対策は行なっていますが、今回の事を忘れないように、定期的な確認や、BCPの推進等で職員に感染症対策の意識付けを行ってください。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>・特になし。</p>	<p>・昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大によって、ほとんどの地域でのイベントが中止になっています。イベントが行われたとしても、高齢者のリスクを考えると声を掛けるのもどうかと思います。</p> <p>・何かあれば、普段から相談ができています。</p>	<p>・感染状況によって、運営推進会議も開催される時と書類の時もありますが、事業所の状況は理解できていることも地域としてどうすることもできず、はがゆい気持ちです。</p> <p>・地域の行事も殆どが中止となっていています。今後は感染状況やワクチン接種や新薬の開発によって、コロナと共存する社会となり、地域とのかかわりも変化すると思いますが、今はまだこの状況が続くものと思います。</p>	<p>特になし。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らを支える取組み</p>	<p>・利用者様が安心して利用できるように、レクリエーション等工夫して楽しんで頂けるようにしてください。</p>	<p>・地域のイベント等には、感染予防のため、参加できません。</p> <p>・天候がよければ、施設周辺の散歩や少人数でのドライブを行っています。</p> <p>・室内レクでも、人が触れたものは、毎回消毒する等、感染対策を徹底し、実施しています。</p>	<p>・高齢者の重度化リスクを考えると、地域のイベントがあつたとしても参加できないと思いますし、誘うことも難しいです。</p>	<p>感染症対策を行いながら、地域の感染状況を見ながら、少人数で、あまり人がいないところなどを見つけて、外出等を行い、地域の環境に触れる機会を提供してください。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・地域での相談案件を受け入れることができ体制を考えていきます。</p>	<p>・地域からの相談や、地域包括からの緊急利用を受け入れています。</p> <p>・家族からの虐待疑いがあり、地域包括に相談し、虐待を防ぐ取り組みができました。</p>	<p>・地域からの相談ではありませんが、地域包括と連携できずにおり、安心していません。虐待についてもすぐに相談し、連携されていると思います。</p>	<p>・特になし。</p> <p>今後も地域の相談や、地域包括との連携し対応していただきます。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・コロナ禍での地域と施設の協力体制を考える。</p>	<p>・コロナ禍と考えるとできることが少なくなると思います。災害対策と考えると、できることも見えてくるように思います。</p>	<p>・報知器の誤報があった際に、コロナ禍であっても周辺の方が応援に来てくれたと聞いて、ある意味、安心しました。</p> <p>・災害時に地域住民が避難できようか。</p>	<p>災害時に地域における被害が少なくなると、事業所としてできていることを検討していただきます。</p>